

絵本遊び 読み聞かせ インストラクター

一般社団法人全国乳幼児遊び研究協会

講師：みやざき あゆみ

03

講義3：絵本の選び方

(英語絵本含む)



講義 3：絵本の選び方

絵本。
それは、大人から子どもへのプレゼントとも言えます。
そんなプレゼント・・・
どのような絵本を選べばよいのか？
そして、年齢に合った本とは？？？
そんな悩みを解決できる講座です。
自信を持って選び、自信を持ってプレゼント
（読み聞かせ）をしてください！



1.0 ～ 1 歳

講義 3

この時期は、耳で言葉（音）を聞く。
目で見える。
手で触る。
等五感に刺激をたくさん与える。

絵がメインで構成されているものがよい。
色は視覚を刺激する、赤・青・黄色等の色彩がはっきり描かれたカラフルで鮮やかなものがおすすめ。
まる、さんかく等の形状で色や形のわかりやすい大きな絵、そして簡単な言葉の組み合わせの絵本を選ぶようにするとよい。

0歳はまだ文字より絵のほうに興味を持つので、文字の無い絵本でもOK。
その場合は、絵に合わせて話す言葉を考えながら子どもに語り掛けるように読む。

内容は身の回りにある赤ちゃんの知っているもの（食べ物や動物・乗り物等）が描かれた物だと喜ぶ。

講義 3

また、この時期の赤ちゃんでも発音できる両唇音（りょうしんおん）が沢山入っている物を選ぶと一緒に楽しむ事ができる。

☆両唇音（りょうしんおん）

まみむめも

ばびぶべぼ

ぱぴぷぺぽ

といった上下の唇を合わせて発音する音

赤ちゃんが初期に獲得できる音。

講義 3

そして、擬態語（ぎたいご）・擬音語（ぎおんご）・擬声語（ぎせいご）オノマトペが沢山用いられている絵本を選ぶと、言葉が未発達の赤ちゃんも楽しめる。

☆オノマトペ

物事の状態を表す擬態語（つるつる、ふわふわ）

音を言葉で表した擬音語（どんどん、がちゃがちゃ）

人や動物の発する声を表した擬声語（わんわん、ぶーぶー）

※オノマトペは大人にも良い効果があると言われている。

脳に直接働きかけ、イメージが湧きやすい。

その為勉強や仕事の前にオノマトペを使って行動をイメージするとやる気が上がりやすいそう。

0歳児の赤ちゃんが手に触る場合、「なんだろうな？」と興味が出たものを口に入れて確認する為、素材や清潔にも気を配る。

素材としては布絵本や、ボードブックという厚めのボール紙で出来ていて、更に角が丸くなっている絵本が特におすすめ。

講義 3

☆余談☆

赤ちゃんが物を口に入れる理由

赤ちゃんは視覚や触覚より口周りが発達している。

発達している口で色々な物を確認する。

更に赤ちゃんは生後、母乳やミルクを飲む為に必要な「哺乳反射」が備わっている。

生後2か月頃から手足を活発に動かすようになり、手が口に触れる機会が増える時期になると哺乳反射により、手やたまたま掴んだ物を口に入れる行動が現れる。

【哺乳反射】

原始反射（赤ちゃんが刺激により無意識に反応する反射動作）の1つ。

生れた直後から反応が見られ、4～5ヶ月頃から少しずつ薄れ、6,7ヶ月頃には消えていく。

下記一連の反射をまとめて哺乳反射と呼ぶ。

- ①口に触れた乳首を探すための「探索反射（たんさくはんしゃ）」
- ②口を開けて乳首をくわえようとする「捕捉反射（ほそくはんしゃ）」
- ③口に入った物に吸いつく「吸啜反射（きゅうせつはんしゃ）」

2.1 ~ 2 歳

講義 3

出来る事がどんどん増えていくこの時期。

発達や興味がある事に着目しての本選びをする事により、遊びが更に楽しめる。

歌絵本や楽しいリズムのある物を取り入れながら、集中できない子どもと一緒に過ごせるような本選びも大切。

家での読み聞かせの際は、それぞれの子どもを観察し現在ブームになっている物が入っている絵本を選び、親子の読み聞かせの時間を過ごすのも良い。

ex. たたくのが好き→太鼓が出てくる絵本

ジャンプが好き→人でも動物、昆虫でも良いので飛ぶ動作が入っている絵本



単純な繰り返しも大好きな時期なので、言葉の繰り返しが入っている絵本もまだまだおすすめ。

オノマトペが多く使用されている絵本も大好きで、楽しめる。

子どもは真似して言葉をはなそうとする為、言葉の練習にも繋がる。

挨拶の基本やお昼寝を促す、歯磨きが楽しくなるような絵本など、生活習慣を学べる内容を選ぶ事で、絵本を使い自然に生活習慣を身につける事が期待できる。

講義 3

食への興味を刺激するというのはいかが？

くだものや野菜、デザート等美味しそうな食べ物が描かれている絵本を選び、食への関心を高めていくと、食べ物の名前も少しずつ覚える。

また、身体を動かして遊びたくなる絵本
ジャンプ、しゃがむ、身体を揺らす等
絵を見ながら真似をして遊べる絵本も良い。

3.2 ~ 3 歳

講義 3

赤ちゃんから子どもへと成長する時期。
興味や出来る事の幅が広がる。

色に興味を持ち始める為、色を覚えられるような内容の絵本もおすすめ。

やりたい気持ちが溢れる反面、なかなか上手にできない時もある時期。
更には自己主張が激しくなる時期なのでイヤイヤ期でもある。

出来た時の喜びを分かち合える絵本や、イヤイヤ期の気持ちが切り替えられるような
内容の絵本を読むのもよい。

また、短いお話しも聞けるようになるので、聞いていて楽しいユーモアに溢れた絵本
を読むと大人も子どもも楽しめる。

講義 3

活動範囲が広がる2歳児は、外遊びは多くの発見の場となる。
自然への興味を刺激する絵本もよい。

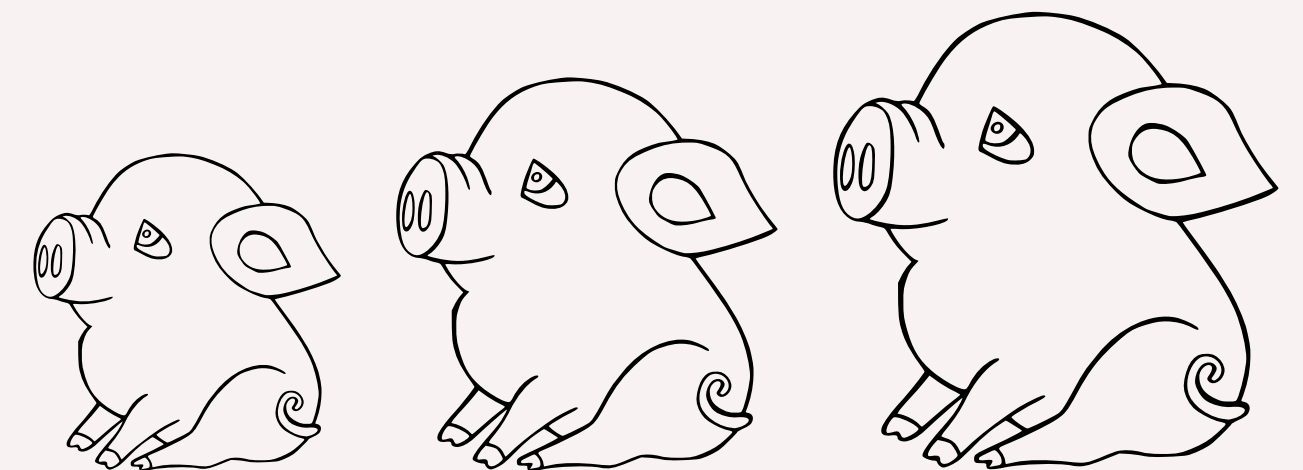
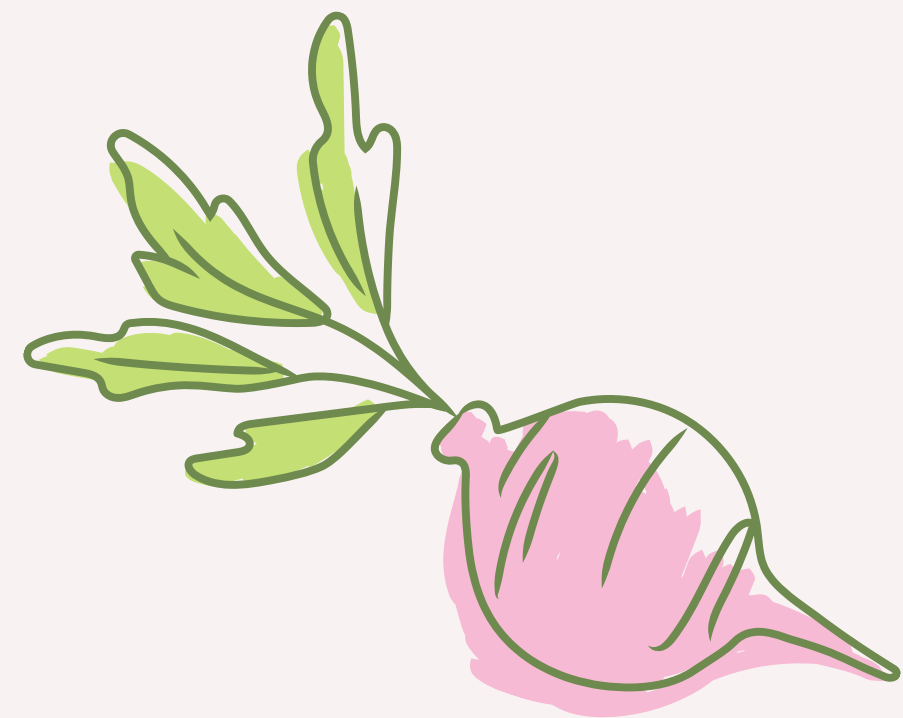
季節や天気、虫や動物・・・

絵本で予習してから外遊びをするのも探求心が広がり、興味が湧くきっかけとなる。

4.3 歳児

講義 3

興味の幅が更に広がり、言葉の幅も広がる。
絵本の主人公に自分を重ねて真似してみたり、自分と似ているものを好きになる。
理解力や認知力も発達し始める時期なので、昔からの定番の絵本を読み聞かせするのがよい。



講義 3

言葉の数が大幅に増える3歳児は、言葉のリズムで遊べる絵本も楽しめるようになる。
しりとりなどの言葉遊びが楽しめるのもこの時期からになる。
色々な言葉に興味を持つきっかけとなる絵本を読む事により、多くの事を吸収する。

分野に特化したジャンルに詳しくなるような絵本は、もっと知りたいという気持ちを刺激する。

5.4 歳児

長めの絵本でも聞く事ができるようになる。
主人公の気持ちになりきって、共に感動できるようになる。
奇想天外なストーリー性のある絵本も創造力を広げる事ができる。

兄弟が出来る子どもが増えるのもこの時期なので、赤ちゃんが生まれるストーリー性のある絵本もおすすめ。

コミュニケーションや社会性を学ぶ事ができる絵本も理解できる時期なので、人との関係を保つ為のルールを学べる絵本もよい。

6.5 歳児

メッセージ性のある絵本や心を育む絵本を読むと、自分の事として受け止める力も備わってくる年齢。

何か伝えたいメッセージを絵本に託して読むのも◎

数やひらがなや地図といった知識として吸収できる本は、好奇心旺盛な5歳児に取り入れたい部分。

寝かしつけの前には、絵の無い物語を読み聞かせる事ができるのも5歳児。

ただ、難しい絵本ばかりではなくユーモアの入った楽しい絵本もまだまだ楽しめるので、今まで読んできた短い絵本を読んでリラックスした安心できる時間にする事を忘れない。

7.初めての英語絵本選び☆3つのポイント

講義 3

- ①文は長すぎず、同じような言い回しが何度も繰り返えし出てくる物を選ぶ
→耳に入ってきてやすいうえ、リズムがよいので楽しめる
- ②絵がシンプルで内容もわかりやすい物を選ぶ
→英語がわからなくても絵で内容がわかると想像が膨らみやすい
- ③日常生活になじみのある場面が描かれている物を選ぶ
→自分の生活に近い内容だと理解しやすく、そのフレーズを使うイメージがつきやすい

一緒に英語のフレーズを言ってみるのも良いでしょう。

英語に触れる事ができる時間です。

難しい内容よりも、簡単な物から始めると苦手意識も感じずに楽しい時間を送れると思います。

まとめ



年齢に応じた内容を選び、子どもも大人も楽しめる時間にする。

様々な年齢の子ども達へ読み聞かせする場合は、長いお話しは避けて、短い絵本～中間の絵本を数冊読むとバランスよい読み聞かせの時間となる。

英語絵本は無理なく、簡単で単純な楽しい物を選ぶと良い。

※具体的な絵本の名前は著作権の関係でこちらに記載する事ができない為、Instagramにて紹介させていただきます。

Thank You



講義 3

講義お疲れ様でした。

いかがだったでしょうか？

色々なシチュエーションで使える絵本。
年齢やタイミング等々、色々な場面で大活躍です。

そこで課題です。

【課題】

あなたが今読み聞かせしたい本を教えてください。

ラインにてお待ちしております。
もし理由もあったら教えてくださいね。

楽しみにしています(^^)